

奈良県知事 荒井 正吾 様

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置に関する要望書

リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪の三大都市圏を超高速で結ぶ国家的プロジェクトであるとともに、奈良県の発展にとって、またとない大きな飛躍の機会です。

全国新幹線鉄道整備法に基づく1973年の「基本計画」及び2011年の「整備計画」では、「奈良市附近」が主要な経過地として明確に記されています。

現在、事業主体であるJR東海が東京・名古屋間の建設工事を進めています。国においても、リニア中央新幹線の整備効果をより早期に発現するため、2016年に、大阪までの全線開業につき当初の2045年から最大8年前倒しを可能とする制度改正が行われました。

これまで奈良市及び大和郡山市では、それぞれの候補地への駅設置を求め、各々で要望活動を行ってきました。しかし、駅位置やルート確定に向けた環境影響評価手続きの開始を見据え、今後、二次交通等を含めたアクセスや駅周辺のまちづくりの具体的な検討に着手する観点からも、本県の候補地として一致結束して取り組むことがますます重要となっています。

そこで、こうした情勢に的確に対応し、リニア中央新幹線の整備効果を奈良県全域の発展に生かし、ともに未来を切り拓く観点から、「奈良市附近駅」の設置を要望いたします。

貴職におかれては、奈良県民長年の悲願であるリニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置実現に向け、引き続きご尽力いただきますよう、強く要望いたします。

令和4年2月18日

奈良市長 仲川 げん
大和郡山市長 上田 清